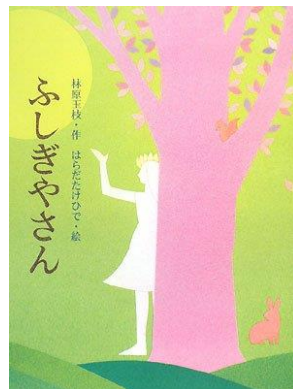




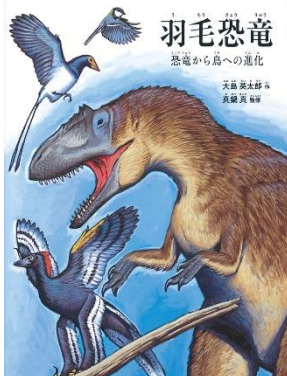
きょうかしょ で さくしゃ ほか さくひん しょうかい よ  
**教科書に出てくる作者の他の作品の紹介です！ぜひ読んでみてください♪**



**ふしぎやさん**

はやしばらたま え さく  
林原玉枝 / 作

ふしぎやさんには、まだ誰も会ったことがない。木の実が甘く熟したところにやってくるという、ふしぎやさんに会おうと、子りすのキチは、森の奥へ出かけて…。



うもうきょうりゅう  
**羽毛恐竜**

おおしま えいたろう さく  
大島 英太郎 / 作

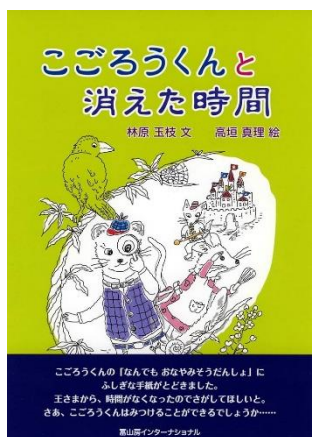
とおいとおいむかし、鳥は空飛ぶ恐竜だった。大むかしに独自の進化をとげた恐竜は、すでに絶滅した生き物だと思われていました。しかし近年では…。



**おにたのぼうし**

あまん きみこ / 作

せつぶん よる  
節分の夜。どのうちからも豆をまく音がして、おにの子の『おにた』は、いくところがありません。角をかす古いむぎわらぼうしをかぶって、まちを歩いていきました。



きじかん  
**こごろうくと消えた時間**

はやしばらたま え さく  
林原玉枝 / 作

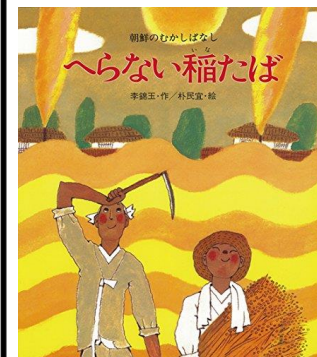
おう じかん  
王さまから、時間がなくなったので、さがしてほしいと。さあ、こごろうくんは、なくなった「時間」をみつけたすことができるでしょうか。



**のはらうた**

くどう なおこ し  
工藤 直子 / 詩

くどうさんが野原に遊びに行くと、いろいろな詩人に会います。へびいちのすけとか、みのむしせつとか。かまきりりゅうじは、おれはかまきり、という詩を書きました。



いな  
**へらない稲たば**

り むくおく ぶん  
李 錦玉 / 文

なかのよい兄弟は、それぞれおたがいの生活を思い、夜になるとこっそりとおたがいの庭に稲たばをおいていきます。家族のきずなを大切にしたい。あたたかいお話。



まち  
**せなか町から、ずっと**

さいとう りん ぶん  
斎藤 倫 / 文

すがた  
その姿は、『マンタ』と呼ばれるおおきなえいに似ているらしい。とにかくわしはおおきくて、わしにくらべたら、クジラはまるで小魚のようだ。



くるま そら  
**車のいろは空のいろ**

あまん きみこ / 作

あなたは、まちで空色の車を見かけたことはありませんか？もし見かけたら、手をあげて乗り込んでみましょう！きっとわくわくするようなことが待っていますよ。



**かみなりむすめ**

さいとう りゅうすけ さく  
斎藤 隆介 / 作

むら こ  
村の子どもたちとあそびたくて、おや 親にないしよで下界におりた、かみなりむすめの物語。やさしさにあふれた美しい切り絵の珠玉絵本。